【事前課題１】サービス（支援）提供事業所としての自己検証（振り返りシート）

|  |  |
| --- | --- |
| 市 町 村 名 |  |
| サービス（支援）の種類 |  |
| 事業所名 |  |
| 氏名 |  |

以下の事項について、事業所での取り組みを振り返り、記載してください

|  |
| --- |
| お勤めの法人（事業所）の理念をお書きください。（理念が明文化されていない方は、法人（事業所）として大切にしていることをお書きください） |
| 法人（事業所）の理念に基づいた実践が出来ていますか？ |
| 法人（事業所）の理念を浸透させるために、どのような取り組みをしていますか？ |
|  |
| 事業所の地域における役割は何ですか？ |
|  |
| 事業所のかかえる課題は何ですか？（その理由も） |
|  |

【事前課題２】サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者

振り返りシート（自己検証用）

以下の事項について、現時点から一年程度を振り返り、記載してください。

※このシートは、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者(以下、サビ児管)に求められている役割について、自らが現時点でどのように遂行しているかを振り返り、どのようにすればさらに質の高い取り組みができるかを確認するためのものです。審査をするものではなく、自己を振り返るものですので、ありのままに自分の考えや認識を記入してください。なお0～10の各段階は、絶対評価の「点数」ではなく、あくまでも自己検証用の段階（目安）ですので、考えすぎずに直感的につけてください。

1. 個別支援計画の作成プロセスについて

（１）アセスメントについて

1. あなたは担当した利用児・者の個別支援計画を作成するにあたり、ストレングスの活用やICFの視点を持って、本人や置かれている環境の情報収集や分析・課題の整理ができていますか？また、適切にアセスメントの更新ができていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

1. どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

* 1. 個別支援計画の作成について
	2. あなたは担当した利用児・者の個別支援計画を作成する際、サービス等利用計画を踏まえ、自事業所の役割を意識して計画作成ができていますか？またその際、自己決定やエンパワメント・権利擁護・合理的配慮等々、必要な視点を持って計画作成ができていますか？漫然と同じ計画を続けているようなことはないですか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

（３）モニタリング（個別支援計画の評価・見直し）について

1. サビ児管は計画を作成すると同時に、利用児・者や環境の変化に対応するなど、その計画の見直しを行い、さらに質の高いサービス(支援)提供に反映させる業務も重要です。個別支援計画のモニタリングを主旨の通り適切に、かつ最低限法令に定められた期間で定期的に行っていますか？また、目標が達成されないことを本人のせいにするのではなく、支援の課題としてとらえ、個別支援計画の評価・見直しをすることができていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

（４）利用者への説明と同意、書面計画書の交付について

① 個別支援計画を作成した時やモニタリング時などに、利用児・者に書面で計画書を交付し、丁寧に本人にわかりやすく説明を行うなどして理解を得ていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

２.個別支援計画に基づいた支援の実施について

1. 作成した個別支援計画に基づいて、全スタッフが同じ方向を向いて支援できるような体制が取れていますか？思い付きの支援がなされているようなことはないですか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

３．記録について

① 他者への説明責任を果たすためや事故等の未然防止のため、日々の記録はとても重要と言われています。日常的な支援の記録や家族との連絡など、業務日誌や個人台帳等の記録を整備し保存していますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

４．会議について

① 職員間の連携や事業所全体での検討が必要な事項については、会議の活用が必要となります。定期的に職員会議やサービス(支援)向上や改善のための会議が行われていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

５．他の従業者に対する技術指導及び助言について

（１）日常業務での助言・指導について

① 人材育成の視点を常に持ち、必要な従業者に対し、助言・指導やバックアップ(心理的サポート等)を適時行っていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

1. どのようなことを理由(根拠)にして点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

（２）上記の業務を組織として行える体制整備について

① 日常業務での助言・指導やバックアップなどの人材育成の取り組みを、自身(サビ児管)だけでなく、組織全体で取り組む体制を作り、行っていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

1. どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

（３）サビ児管としての人材育成について

1. サビ児管基礎研修修了者は2年間のOJTを経て実践研修を受講することで、サビ児管としての配置の要件を満たすことになります。次のサビ児管養成のためにOJTや指導の体制をしっかりとれていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

1. どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

５．苦情解決について

1. 過去1年間に約何件の苦情が寄せられましたか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 約 | 　　　　　　　　　 | 件 |

② 利用児・者やその家族から要望や苦情が出ることはマイナスな事柄と限定的に判断せず、サービス(支援)の向上のためのきっかけや気づきをいただけたと前向きな姿勢で受け止めることが大切です。日頃より出された要望や苦情に耳を傾け、適切な処理や対応ができていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

1. どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

６．虐待防止について

（１）不適切な支援への対応について

① 日頃から職員の業務や職場での様子に注意深く目を向け、いわゆる不適切な言動などに注意し、虐待の防止や不適切な支援の芽を早期に摘むような行動ができていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| できていない |  | できている |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

（２）虐待の通報について

① 虐待が疑われるようなケースがあった場合、虐待の担当窓口に通報することができていますか？また、福祉サービスに従事する者として、通報の義務があることを、スタッフに周知することができていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| できていない |  | できている |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

1. どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

③ 過去1年間に虐待と認定された事案は約何件でしたか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 約 | 　　　　　　　　　 | 件 |

７．機密の保持について

① 利用児・者から得た情報は、支援に有効に活用されるために収集されるものです。利用者(児童期は保護者)の許可なき第三者への提供や外部への漏洩がない対応や体制作りが必要となります。個人情報管理についてルールが作られ、職員全員が認識し、適正な扱いが行われていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

８.　家族支援について

1. 利用児・者のご家族は、当事者への支援に協力を得られる資源となる一方で、負担や不安を抱え、支援を必要としている対象となる場合もあります。親御さん・きょうだい等のご家族や世帯を意識した支援の実施ができていますか？　10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

８．サビ児管としての自己研鑽について

1. 事業所のサービスの質を向上させていくために、事業所のサービス提供部門の責任者として、知識の獲得や支援技術の向上、積極的な情報収集、ネットワークづくりなどの自己研鑽に励んでいますか？10段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

【事前課題３】サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者

振り返りシート（連携用）

以下の事項について、現時点から一年程度を振り返り、記載してください。

※この振り返りシートは、サビ児管としての業務を振り返り、できている点について現状を維持し、さらに伸ばしたり、現状よりも質の高い連携を行うためにはどのようにすればよいかの気づきを得るために行うものです。審査をするものではなく、自己を振り返るものですので、ありのままに自分の考えや認識を記入してください。なお0～10の各段階は、絶対評価の「点数」ではなく、あくまでも自己検証用の段階（目安）ですので、考えすぎずに直感的につけてください。

１．関係機関（企業・学校・医療機関・他の福祉事業所等）との連携

1. 利用児・者の生活はひとつの福祉サービスだけで成り立っているわけではありません。そのため、サビ児管は必要に応じ、関係機関との連携が重要な業務となります。生活の質の向上のために、生活全体に目を向けたり、ライフステージをつないでいくために、切れ目がないように意識して、関係機関との連携した業務を行っていますか？ 単に支援チームに名を連ねたり、会議に参加したりしただけで、連携できている気になっていませんか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

1. どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

③ 自分でよくできたと思うのは担当者全体の約何％ですか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 約 | 　　　　　　　　　 | ％ |

④ 関係機関との連携が効果的であった実践があれば概要を簡潔に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

２．相談支援専門員との連携

1. 利用児・者の希望する生活を実現していくためには、連携する関係者の中で、相談支援専門員との連携は特に重要と言われています。相談支援専門員との連携はできているでしょうか？最も利用児・者にとって身近な存在である支援者だという自覚を持って、相談支援専門員との連携が出来ていますか？連携をすべて相談支援専門員任せにしていませんか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

③ 担当者全体の約何％について、自分でよくできたと思いますか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 約 | 　　　　　　　　　 | ％ |

④ 相談支援専門員との連携が効果的であった実践があれば概要を簡潔に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

３．担当者会議への参加・開催について

1. 様々な機関や担当者との具体的な連携の場として、担当者会議が想定されています。担当者会に参加した際、自事業所やチーム全体の支援の効果が上がるよう、必要な情報共有や情報収集が出来ていますか？また利用児・者の状態や環境の変化等に応じてサビ児管として自らが担当者会議を開催していますか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② 担当者会議が必要な利用者は一人もいなかった場合は、チェック欄に✔を入れてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　会議が必要な利用者は一人もいない　　 | [ ]  |  |  |

③ どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

④ 担当者全体の約何％で自ら担当者会議を開催しましたか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 約 | 　　　　　　　　　 | ％ |

⑤ 担当者会議が効果的であった実践があれば概要を簡潔に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

４．共生の地域づくりへの視点について

1. 自事業所のことだけではなく、共生社会の実現を目指し、地域をよりよくしていくという視点を持って、地域の課題の把握やネットワークづくりなどをしながら、業務に当たっていますか？児童のサービスだから、成人のサービスだから、就労のサービスだから等を言い訳にして、目先だけの支援にとらわれていませんか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

1. どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

③　事業所のある地域には、どのような地域課題がありますか？

|  |
| --- |
|  |

④　ネットワークづくりをしてよかったと思える事柄があれば記載してください。

|  |
| --- |
|  |

５．(自立支援)協議会への参加について

① 各自治体(や圏域等)に設置されている(自立支援)協議会で取り上げているテーマや地域の課題、審議内容を把握していますか。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない |  | できている→ |
| 0 | 　 | 1 | 　 | 2 | 　 | 3 | 　 | 4 | 　 | 5 | 　 | 6 | 　 | 7 | 　 | 8 | 　 | 9 | 　 | 10 |

② どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～１０点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

1. この分野についてもっと学びを深めたいことは何ですか？

|  |
| --- |
|  |

④ 協議会へ出席している方は左のチェック欄に✔を入れてください。（事業所のどなたかが出席されている場合を含みます。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　協議会へ出席している　　　　 | [ ]  | ⇒ | ✔がついた方は、⑤にもお答えください |

⑤ 協議会が機能した例を経験していますか？ある場合は概要を簡潔に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

【宿題】

あなたの地域の(自立支援)協議会にどのような部会があるのか、またその審議内容について調べておきましょう。

|  |
| --- |
|  |

【事前課題４】サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者

振り返りシート

1. 自身の実践を立ち止まって振り返り、事前課題1～3に取り組んでみて、気づいたこと（支援をしていく上で、自身が大切にしていることや自身の課題）をまとめてみましょう。

|  |
| --- |
|  |

1. 更新研修では、色々な地域・分野のサービス管理責任者・児童発達管理責任者と自己検証の共有をしていきます。異なる地域・分野の視点からの意見や発表で新たな気づきが得られることと思います。事前課題4-①を踏まえ、更新研修で、ここは学びたい、他の受講生さんから、ここのアドバイスが欲しいということをまとめてみましょう。（更新研修での獲得目標の設定）

|  |
| --- |
|  |

※更新研修では、あなたが学びをもらうだけでなく、あなたも他の受講生の学びを助けていくことななります。サービス管理責任者・児童発達管理責任者のなかまとして、支援の質の向上・より良い事業所・より良い地域づくりのために、一緒に学びを深めていきましょう。研修当日、お会いできることを楽しみにしています。